

今江小だより

令和7年1月14日発行 NO.19

発行者 今江小学校長 北野 勝久
HP アドレス <http://www3-net13.hakusan.ed.jp/ima-e>
E-mail ima-e@kec.hakusan.ed.jp
TEL 0761-22-0577 FAX 0761-22-0781

令和7年は、年の始めを穏やかに迎えることができ、1月8日には、子どもたちの元気な姿を見ることができました。始業式では、今年は巳年で「変化」の年であり、蛇が脱皮をするようにいろいろなことにチャレンジしようという話をしました。

始業式後の書初めの会では、1から4年生は各教室で、5・6年生は体育館で、冬休みに練習してきた課題を書きました。心静かに集中して、一文字一文字を書く様子から、新しい年に向けたやる気が伝わってきました。

保護者の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします



「学校の教育活動に関するアンケート」 (児童アンケート編)

本年度の本校教育の取組に関して、12月にアンケートをさせていただきました。その結果について報告いたします。お忙しい中、ご回答ありがとうございました。

第2回目のアンケートでは、1回目(7月)のアンケートからの肯定的回答の伸びに着目して、まとめてみました。

◎「A:(よく)当てはまる」という一番よい肯定的な回答が伸びた項目

- ・「自分にはよいところがある」(肯定的回答96%、そのうちAの回答46%→66%にアップ)
- ・「先生や友達は、あなたのよいところを認めてくれる」
(肯定的回答 92%、そのうちAの回答56%→71%にアップ)
- ・「体育の授業や学校で行う運動に進んで取り組み、最後まであきらめずにチャレンジしている」
(肯定的回答 96%、そのうちAの回答71%→82%にアップ)

◎肯定的な回答全体が伸びた項目

- ・「道徳の授業をとおして、新しい考えが加わったり、これからの自分の生活に生かす考えを見つけたりすることができている」(肯定的回答93%→99%にアップ)
- ・「自分の考えが伝わるように気をつけて話している」(肯定的回答87%→95%にアップ)
- ・「学級の友達と話し合う時、友達が伝えたいことを最後まで聞き、自分の考えを伝えている」
(肯定的回答91%→96%にアップ)

1学期と比べて、「自分にはよいところがある」「先生や友達がよいところを見つけられる」という肯定的な回答が増え、児童の自己肯定感が高まっていることがわかります。2学期始めの学校だより9号でもお知らせしましたが、夏休みに職員で話し合い、2学期から学校全体や学級で児童のよさを認め、写真で掲示する「〇〇スタグラム」を始めたり、職員が子どもをほめる達人(ほめたつ)を目指した取組を推進したりした成果が表れていると言えます。

2学期は、たてわりリレーマラソンに取り組んだこともあり、「運動に進んで取り組み、最後まであきらめずにチャレンジしている」という自信をもって回答する児童が増えました。また、「道徳を通して、新しい考えや生活に生かす考えが見つかった」という肯定的な回答も増えています。

学校では、これからも確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の、「知」・「徳」・「体」をバランスよく育てていくことを目指していきます。